

タイトル「**2022年度スポーツ科学部(公開用)**」、フォルダ「**スポーツ科学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	SSCS3629		
科目名	スポーツ測定評価演習		
担当教員	近藤 克之		
対象学年	3年,4年	開講学期	前期
曜日・時限	水 1		
講義室	1007	単位区分	選,選必
授業形態	演習	単位数	2
科目大分類	専門科目		
科目中分類	専門応用		
科目小分類	専門統合・演習		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP3 - G〔状況把握力・判断力〕 自らの置かれた状況、及び自己が帰属する集団の内外の状況を把握し、適切に対応することができる。 DP4 - F〔探求力・課題解決力〕 問いを設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。 DP4 - I〔理解力・分析力〕 文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 DP5 - J〔創造的挑戦力・達成力〕 コンピテンスの開発を生涯にわたり継続して行うことを、自らの思考及び行動のパターンとするとともに、既存のアイデアを革新的かつ創造的に統合し、リスクをとりながら、結果に結び付けることができる。 DP1 - E〔学識・専門技能〕 専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し利用することができる。 ■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 G1 状況把握（35%） F1 探求と論拠（10%） F2 課題解決（10%） I1 理解・分析と読解（10%） I2 量的分析（10%） I3 情報分析（10%） J2 創造的思考（10%） E1 学識と専門技能（5%）		
教員の実務経験	2010年から日本パラ陸上競技連盟強化委員として、パラリンピック選手に対するパフォーマンステストの実施や得られた情報のフィードバックなどを行ってきました。一般的体力項目の評価、競技パフォーマンスの評価、選手の個性性を考慮した評価など様々な測定および評価を行ってきた内容を活かし、測定から評価の一連の流れを学修できるように本科目を展開していきます（第1回から15回）。		
成績ターゲット区分	■成績ターゲット 能力開発の目標ステージとの対応 3 発展期 ～ 4 定着期		
科目概要・キーワード	本演習では、スポーツ測定評価で学修した知識を基に、スポーツ指導者やトレーナーに求められる測定や評価を実際に行い、そのデータについての見方、表現方法などを理解することを目的としています。さらにデータをPCを用いた統計的な分析方法によって評価することで、評価方法を学びます。質的分析では、インタビュー法に触れ、テキストデータの解釈方法を学びます。授業形式は、講義形式と調査・研究及びプレゼンテーションを中心とした演習形式によ		

	り行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れます。 ■キーワード：測定評価方法、統計的分析、情報の活用				
授業の趣旨	■副題 なぜ測定するのかを明確にするとともに、その目的を果たすための最適な方法を選択し評価できるようになる。 ■授業の目的 本授業の目的は、受講生が「スポーツ測定評価」の授業で学修したスポーツ科学分野における測定評価に関する基本的な知識を基に、PCや測定機器などを利用しながら、実践的な能力を養うことです。本授業では、受講生が競技スポーツに関わる様々な事象を、最適な方法論を用いて、量的及び質的に分析できるようになることを目指します。 ■授業のポイント スポーツ測定評価の授業を基に、スポーツに関連する様々な事象を、PCや機器を用いて正確に測定し評価する態度を養います。また測定する者として、スポーツを多面的に捉え、近代的な機器を用いなくとも一定の観点や視点を持ちながら評価を行うことによって、客観的な評価を行うことができることにも目を向けたいと思います。さらには、情報をいかに活用するかについて、情報の収集・分析・加工・提供の手順を踏まえつつ、戦略的な方法を検討していきたいと思います。				
総合到達目標	■スポーツ測定評価で学修したことを踏まえ、スポーツ指導者やトレーナーとして対象者を客観的に観察するために、スポーツ科学分野における量的および質的な測定評価方法を学修し、スポーツ実践現場で科学的根拠に基づく対応を行うための応用力を修得する。 ・スポーツ実践現場において情報が果たす役割を説明できる。【知識】（第1回から9回授業） ・一般的な体力テストや運動能力テストを検討し、運動を評価できる。【技能】（第2回から4回授業） ・スポーツの様々な事象を測定評価する際に、PCを用いて統計的な手法を適用し分析できる。【技能】（第5回から9回授業） ・スポーツの様々な事象を測定評価する際に、質的な手法を適用し分析できる。【技能】（第10回から11回授業） ・得られた情報を対象者にフィードバックする際に、優先度をつけて示すことができる。【態度】（第2回から15回授業） ・スポーツの様々な事象を評価するために、計画立案から測定評価の一連の手順を意識し、得られた結果を評価できる。【態度】（第12回から14回授業）				
成績評価方法	■授業シート6回（60%）：適用ルーブリック G1・I1・I2・I3・J2・E1 （評価の観点）予習および授業内容を踏まえ、授業内で呈示する課題に最適な方法論で取り組み、得られた結果を考察することができているかを、確認します。正確な判断を行うための知識をもち、知識と知識を組み合わせ論理的に課題を解決する能力を評価します。 （フィードバックの方法）授業時に模擬解答を返却し、自身が記入した内容と照らし合わせ、次の授業までに不明点を整理します。 ■レポート1回（20%）：適用ルーブリック F1・F2 （評価の観点）高度情報社会の中、競技スポーツにおいても情報を有効に活用することによって、様々な効果が期待されています。スポーツと情報を組み合わせ活用することを考え、現実的に効果を高められるような測定評価の方法を提案することができるかを評価します。 （フィードバックの方法）レポート提出後に、事例解答を配布し、自身が記入した内容と照らし合わせ思考を整理します。 ■授業参加度（20%）：適用ルーブリック G1 （評価の観点）授業に主体的に取り組むことができているか参加度を評価します。 （フィードバックの方法）発言、質問、意見の交換など授業構築への参加の記録票を示します。				
履修条件	「スポーツ測定評価 SCS2338（2年次配当）」を履修していること。				
履修上の注意点	特にありません。				
授業内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td> ①授業テーマ スポーツ科学分野における測定評価の考え方（ガイダンスと復習を含む） ②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえて、本授業の目的・方法などのガイダンス的内容を中心とし、「スポーツ測定評価」の授業内容を説明できるようになる（F1、F2、E1）。また、測定評価の目的や意義を説明できるようになる（E1）。 ③予 習（120分） 2年次開講科目「スポーツ測定評価」の授業内容を復習するために、授業ノートや配布資料などを十分に読み返してくる。 </td></tr> </tbody> </table>	回	内容	1	①授業テーマ スポーツ科学分野における測定評価の考え方（ガイダンスと復習を含む） ②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえて、本授業の目的・方法などのガイダンス的内容を中心とし、「スポーツ測定評価」の授業内容を説明できるようになる（F1、F2、E1）。また、測定評価の目的や意義を説明できるようになる（E1）。 ③予 習（120分） 2年次開講科目「スポーツ測定評価」の授業内容を復習するために、授業ノートや配布資料などを十分に読み返してくる。
回	内容				
1	①授業テーマ スポーツ科学分野における測定評価の考え方（ガイダンスと復習を含む） ②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえて、本授業の目的・方法などのガイダンス的内容を中心とし、「スポーツ測定評価」の授業内容を説明できるようになる（F1、F2、E1）。また、測定評価の目的や意義を説明できるようになる（E1）。 ③予 習（120分） 2年次開講科目「スポーツ測定評価」の授業内容を復習するために、授業ノートや配布資料などを十分に読み返してくる。				

	④復 習 (120分) 今回の授業内容を見返し、授業内で示される検討課題に取り組む。
2	①授業テーマ PCを利用した測定データの図表化（視覚化）① ②授業概要 表計算ソフトやプレゼンテーションソフトを用いて、教員より呈示されたデータを基に図表化を行う方法を説明できるようになる（G1、F1、F2、I2、I3、J2）。その際、担当教員の実務経験を踏まえて、PC等を利用した測定データを図表化する手順を説明できるようになる（E1、J1）。 ③予 習 (120分) PCの表計算ソフトやプレゼンテーションソフトの基本機能を理解しておく。 ④復 習 (120分) 今回の授業内容を見返し、授業内で示される復習課題に取り組む。
3	①授業テーマ PCを利用した測定データの図表化（視覚化）② ②授業概要 表計算ソフトやプレゼンテーションソフトを用いて、教員より呈示されたデータを基に図表化を行う方法を説明できるようになる（G1、F1、F2、I2、I3、J2）。その際、担当教員の実務経験を踏まえて、PC等を利用した測定データを図表化する手順を説明できるようになる（E1、J1）。 ③予 習 (120分) PCの表計算ソフトやプレゼンテーションソフトの基本機能を理解しておく。 ④復 習 (120分) 今回の授業内容を見返し、授業内で示される復習課題に取り組む。
4	①授業テーマ PCを利用した測定データの図表化（視覚化）③ ②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえて、表計算ソフトやプレゼンテーションソフトを用いて、教員より呈示されたデータを基に図表化を行う方法を説明できるようになる（G1、F1、F2、I2、I3、J2）。図表化した内容を評価し、授業シートにまとめて記述（記載）できるようになる（I2、I3、J2）。 ③予 習 (120分) PCの表計算ソフトやプレゼンテーションソフトの基本機能を理解しておく。 ④復 習 (120分) 今回の授業内容を見返し、授業内で示される復習課題に取り組む。
5	①授業テーマ 表計算ソフト（エクセル）や統計処理ソフトSPSSを用いた統計処理① ②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえて、表計算ソフト（エクセル）や統計処理ソフトSPSSを用いた検定の実際（データ分布とパラメトリック・ノンパラメトリック検定、分布の違いが検定方法に及ぼす影響など）と基本操作について説明できるようになる（E1、I2、J1）。 ③予 習 (120分) PCの表計算ソフトやプレゼンテーションソフトの基本機能を理解しておく。また「スポーツ測定評価」の6回目から11回目の授業内容を振り返っておく。 ④復 習 (120分) 今回の授業内容を見返し、授業内で示される復習課題に取り組む。
6	①授業テーマ 表計算ソフト（エクセル）や統計処理ソフトSPSSを用いた統計処理② ②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえて、2群間の平均値の差の検定について説明できるようになる（E1、I2、J1）。対応が「ある・ない」場合の検定の意味と解析手順を説明できるようになる（E1、G1、I2、J1）。また、2群間の平均値の差の検定について、課題問題を解き授業シートにまとめて記述（記載）できるようになる（E1、F1、F2、G1、I2、I3、J1、J2）。 ③予 習 (120分) 前回授業の内容を十分振り返っておく。 ④復 習 (120分) 今回の授業内容を見返し、授業内で示される復習課題に取り組む。
7	①授業テーマ 表計算ソフト（エクセル）や統計処理ソフトSPSSを用いた統計処理③ ②授業概要

	担当教員の実務経験を踏まえて、3群以上の平均値の差の検定（分散分析）について、課題問題を解きながら学修し（E1、F1、F2、G1、I2、I3、J1、J2）、授業シートにまとめを記述できるようになる（E1、F1、F2、G1、I2、I3、J1、J2）。 ③予 習（120分） 前回授業の内容を十分振り返っておく。 ④復 習（120分） 今回の授業内容を見返し、授業内で示される復習課題に取り組む。
8	①授業テーマ 表計算ソフト（エクセル）や統計処理ソフトSPSSを用いた統計処理④ ②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえて、3群以上の平均値の差の検定（一元配置分散分析）について、課題問題を解きながら学修し（E1、F1、F2、G1、I2、I3、J1、J2）、対応が「ある・ない」場合の検定の意味と解析手順を踏まえて、授業シートにまとめを記述できるようになる（E1、F1、F2、G1、I2、I3、J1、J2）。 ③予 習（120分） 前回授業の内容を十分振り返っておく。 ④復 習（120分） 今回の授業内容を見返し、授業内で示される復習課題に取り組む。
9	①授業テーマ 表計算ソフト（エクセル）や統計処理ソフトSPSSを用いた統計処理⑤ ②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえて、2変数間の関係性の検定（相関分析）について、課題問題を解きながら学修し授業シートにまとめを記述できるようになる（E1、F1、F2、G1、I2、I3、J1、J2）。 ③予 習（120分） 前回授業の内容を十分振り返っておく。 ④復 習（120分） 今回の授業内容を見返し、授業内で示される復習課題に取り組む。
10	①授業テーマ インタビューや面接法などを用いた研究① ②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえて、スポーツ実践にみられる個別性の高い事象や複合的な事象を、インタビューや面接などの方法を用いて分析するための研究手法を説明できるようになる（E1、F1、F2、G1、I2、I3、J1、J2）。 ③予 習（120分） スポーツ測定評価の第12回目・第13回目の授業内容を振り返り、質的研究の考え方を確認する。 ④復 習（120分） 今回の授業内容を見返し、授業内で示される復習課題に取り組む。
11	①授業テーマ インタビューや面接法などを用いた研究② ②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえて、スポーツ実践にみられる個別性の高い事象や複合的な事象を、インタビューや面接などの方法を用いて分析するための研究手法を学修し、授業シートにまとめを記述できるようになる（E1、F1、F2、G1、I2、I3、J1、J2）。 ③予 習（120分） 前回授業の内容を十分振り返っておく。 ④復 習（120分） 今回の授業内容を見返し、授業内で示される復習課題に取り組む。
12	①授業テーマ 競技スポーツを対象とした測定評価の計画立案① ②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえて、これまで学修してきたスポーツ測定評価の観点を十分に捉え、各自の競技における測定評価の計画を立案し、その内容を記述できるようになる（E1、F1、F2、G1、I2、I3、J1、J2）。また、その目的と測定評価の結果をどのように活用するのかについても説明できるようになる。 ③予 習（120分） 測定計画書に計画を立案してくる。 ④復 習（120分） 今回の授業内容を見返し、授業内で示される復習課題に取り組む。
13	①授業テーマ 競技スポーツを対象とした測定評価の計画立案②

	②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえて、前回授業で計画立案し考察した内容を持ち寄り、グループ毎に検証し発表できるようになる（E1、F1、F2、G1、I2、I3、J1、J2）。 ③予習（120分） 前回授業の内容を十分振り返っておく。 ④復習（120分） 今回の授業内容を見返し、授業内で示される復習課題に取り組む。
	14 ①授業テーマ 競技スポーツを対象とした測定評価の計画立案および実施 ②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえて、前回授業で計画立案し考察した内容を持ち寄り、グループ毎に検証し発表できるようになる（E1、F1、F2、G1、I2、I3、J1、J2）。必要に応じ、実際に測定を実施できるようになる。 ③予習（120分） 実施することを想定し、必要最低限の機器や備品を用意する。 ④復習（120分） 今回の授業内容を見返し、授業内で示される復習課題に取り組む。
	15 ①授業テーマ スポーツ測定評価演習のまとめ ②授業概要 担当教員の実務経験を踏まえて、スポーツ測定評価演習の授業で学んできた内容を総合的かつ体系的に記述できるようになる（E1、F1、F2、G1、I2、I3、J1、J2）。 ③予習（120分） 前回授業の内容を十分振り返っておく。 ④復習（120分） 今回の授業内容を見返し、授業内で示される復習課題に取り組む。
関連科目	「スポーツ測定評価 SSCS2338」（2年次前学期/後学期担当）
教科書	配布資料を用います（Google Classroomにおいても配布します）。
参考書・参考URL	適宜紹介します。
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 開講時に告知します。 ■オフィスアワー 火曜日の4時限目と水曜日の5時限目に設定しています。指定時間以外でも対応しますので、その際には予め、アポイントメントをとることにより研究室で対応します。
研究比率	

